

生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター

施設名/足立区舎人地域学習センター・図書館

【評価対象年度】令和6年度 【自己評価】令和7年4月7日 【評価委員会】令和7年8月18日
【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
1 管理 状況	A 適切な 管理の履 行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×2)		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員会	
		1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付 など	5.0 (×2)	4.0 (×2)	22.2 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み(意識、接遇の向上) ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施 など	5.0 (×2)	4.0 (×2)	
		指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】センター内には区民事務所が併設されており、外国の方や障がいのある方など様々な方が来館され、インクルーシブな対応が求められる。日本語が話せない方や発音が難しい方が窓口に来た場合に備え、翻訳用端末や筆談ボード、コミュニケーションボードを用意し、それらが利用可能な旨を窓口に表示した。また外部研修で障がい者対応の研修を受講した職員より、臨時職員を含めた全職員にむけ、対応研修を行い接遇サービスの強化を図った。			
		区 記入欄	【改善すべき点・課題等】インクルーシブ対応は今後も必要となってくるため、継続的に見直しと研修を行い、新規職員が入って来た場合も含め、誰もが同水準のサービスが提供できるよう努める。			
		区 記入欄	【特記事項】掲示物の整理、利用受付、人員配置など、施設運営業務は適正に実施されている。項目1について、多様な方が利用する施設であることから、受付等における正確なやり取りの補助として、スマートフォンを新規購入し翻訳アプリを窓口で使用可能とした取り組みを評価し、水準点に1点加点する。項目3について、外部の専門的な「障がい者への対応研修」に代表者が参加し、車イスの押し方など実践も交えた所内研修を実施した取り組みを評価し、水準点に1点加点する。			
		評価 委員 記入欄	【評価すべき点】人材育成の取り組みについて、通常業務の範囲とも思えるが、障がい者対応およびカスタマーハラスメント対策のテーマが適切であり、各種研修の実施は評価したい。 【改善すべき点】多言語対応としてスマートフォンのほか、障がいのある方の対応がボードと筆記用具のみでは少し不足に感じる。書くことが不自由な方のために、指で文字を押して表示するものなどの導入について検討があっても良いか。 【その他注意点】			

B 安全性 の 確保	施設の安全性は確保されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員会
	1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など	3.0	3.0	15.0 (満点20点)
	2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など	3.0	3.0	
	3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理 など	5.0	5.0	
	4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など	5.0	4.0	
	指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】昨年度実施した利用者への備品希望アンケートより、利用ニーズのある物を購入し施設利便性の向上に取り組んだ。また、全職員対象に障がい者対応避難訓練を実施した。視覚・聴覚障がい者への対応や車椅子使用者の階段昇降など有事を想定した訓練を行い防災力の強化に努めた。 また、昨年度発生したアスファルト舗装の不備による利用者の転倒事故を受けて、区所管課へ舗装工事を提案し、区発注にて舗装工事を実施した。以後同様の事故は発生していない。さらに施設保全責任者による全館危険箇所チェックを毎月実施し、起こりうる事故を未然に防ぐよう努めている。			
	【改善すべき点・課題等】電話交換機や空調機などメーカー対応が終了する機械が出てきている。不具合が発生する前に計画的な更新工事を提案し、安定した施設運営を継続していく。				
区記入欄	【特記事項】施設設備点検や経年劣化への対応は、水準どおり適切に実施している。項目3について、登録団体など普段学習センターを利用している方にも意見を聞きながら、備品の買い替えおよび新規購入を実施し、サークル活動やセンター事業での利便性を向上させた点で水準点に2点加点する。例えば、貸出頻度が多いCDプレイヤーは2台用意し、同時に2団体への貸出が可能となった。そのほかに、ワンタッチテントは屋外事業で参加者等の日除けや雨除けに活用した。また、令和5年度に発生した駐車場の段差による利用者転倒事故への改善措置として、令和6年度にアスファルト舗装工事を実施し段差は解消された。今後は利用者目線での施設設備点検を徹底し、適切な修繕の実施を求める。項目4について、様々な障がい者の避難を想定した職員避難訓練を実施し、マニュアルに落とし込むなど災害時の対応強化に努めている点を評価し、水準点に1点加点する。今後は、実際に障がい者ととともに訓練した上での課題を把握し、対策を講じるよう努めてほしい。				
評価 委員会 記入欄	【評価すべき点】備品購入に関して、天候不順、暑さ対策は現代的課題であり、それに対応したテントの準備は評価できる。また、危機管理に関しては、障がい者の避難を想定した職員避難訓練の実施やマニュアルへの反映を評価する。なお、項目3の前年度減点事項について、補修工事の完了および危険箇所の定期確認により改善したと判断する。 【改善すべき点】 【その他注意点】				
C 法令等 の 遵守 (※倫理 性も含 む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	5.0	4.0	10.0 (満点15点)
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0	
	指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】とねりマルシェ実行委員会にてLINEのオープンチャット機能を活用し、個人情報の保護と活発な交流を両立させることができた。危機管理研修とカスタマーハラスメント対策研修を実施し、職員の知識と対応力を強化することで、実際に事例解決に繋げることもできた。			
		【改善すべき点・課題等】毎年法令や制度変更があるため、随時対応し、確実な運営を行なっていく。IT技術・サービスの発展により個人情報や法令遵守に資するものが出て来た時には、今後も柔軟に活用を検討していく。			
区記入欄	【特記事項】項目1について、学習センターおよび事業参加者同士の連絡ツールとしてLINEの既存機能を活用し、個人情報保護に配慮しながら円滑なコミュニケーションを図っており、水準点に1点加点する。利用促進のための周知も的確に行い、実際に大半の参加者が利用することで、参加者の主体性向上にも寄与したと考える。また、法令遵守に関して、法令および制度改正への対応を適切に実施している。				
評価 委員会 記入欄	【評価すべき点】既存の機能を生かし仮アカウントでやり取りすることで、個人情報に配慮しながら円滑なコミュニケーションを図ったことを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】				

D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和6年度収支（4,648千円） ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など	3.0	3.0	3.0 (満点5点)
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】今年度より新たに5年間の協定期間が始まり仕様書が更新されたため、人員配置等含め変更が大きかった。それに合わせ年間予算を見直し、確実な業務実施・予算執行に努めた。			
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】次年度は施設・講座・チケット予約システムの変更が予定されており、予約に関するミスが発生しやすくなると考えられるため、確実なマニュアルの習得と慎重な対応を心掛ける。			

区記入欄	【特記事項】仕様書の更新に伴い、社会教育担当者等の役職者の配置および市場調査等の業務遂行が求められるが、それに合わせた予算の計画および執行が適切になされている。			
評価委員記入欄	【評価すべき点】財務、財産管理は適切に実施されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

大項目	中項目	確認項目				
2 事業 効果	A 学習事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、SNS、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	18.0 (満点20点)
		2	A型事業（事本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆A型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	3.0	3.0	
		指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】とねりマルシェの継続実施に向け、初心者向けハンドメイドビジネス講座を開催し、マルシェの新規参画者作りを行った。今回は9組が受講し、全員が活動継続の意思を示されているので、今後のマルシェ出店を期待したい。AIデザインツールを導入したことで、誰もが短時間で高水準のデザインを作ることが出来るようになり、チラシやSNSなどに活用している。区の子どもの貧困対策・若年者支援課が推進する夏休み無料体験事業「あだちワークわーく in Summer」の充実に向け、新規事業「自分だけの本を作ろう」をはじめとした7講座を実施した。			
		【改善すべき点・課題等】講座によっては人気の時間帯とそうでない時間帯が分かれてきている。ニーズに合わせて、柔軟に開催時間を検討・変更していく。				
		区 記入 欄	【特記事項】項目1について、広報活動の取り組みの1つとして、区内100以上の施設・団体が参加する「あだち御朱印ラリー」に舎人地域学習センター・舎人図書館として参加し、来館者にオリジナル御朱印を配布した。来館目的は御朱印であるが、普段利用が少ない世代の施設認知および来館につながった点を評価し、水準点に2点加点する。項目2について、ハンドメイドマルシェに出店するノウハウを体系的に学習する講座を実施し、初心者8組を含む9組の受講者全員がとねりマルシェへの出店を達成できた。受講者に学びを提供するとともに地域活動のきっかけを提供している点を評価し、水準点に2点加点する。項目3について、夏休み無料体験事業「あだちワークわーく in Summer」において、サイエンス教室、ガーデニング講座、工作講座など多種多様な内容の体験講座を開催した。全て定員に達し、多くの子どもたちに体験機会を提供できた点を評価し、水準点に2点加点する。			
		評 価 委 員 記 入 欄	【評価すべき点】各種の活動が幅広く展開されている。AIデザインツールの利用（チラシ、動画、パンフレットなど）による広報体制の強化やB型事業での定員達成は評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

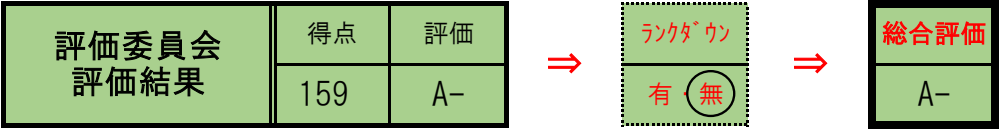
	施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
B 学習支援の取り組み	1 生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充 など	3.0	3.0	13.0 (満点15点)
	2 区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携 など	5.0	5.0	
	3 地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】今年度は区内の大型イベントにアウトリーチ出店を行った。ギャラクシティで開催された「コラボシティ」に大人と子どもが協働するマルシェを出店し、参加した区内の多くの団体との繋がりを持つことが出来た。3月に開催された「舎人公園千本桜まつり」に、学習センター・図書館2ブースで出店し、センター事業PRや読書推進活動を行った。		
		【改善すべき点・課題等】高齢化により、登録団体数と参加者数が減少している。センターとしてサークルの広報活動に協力し、新規入会者が増えるようサポートしていく。		
区記入欄	【特記事項】項目2について、ギャラクシティとの連携事業において140名を超える来店者にワークショップを体験していただき、広くPRを実施しており、水準点に2点加点する。項目3について、舎人公園千本桜まつりにおいて、とねりマルシェ出店者にブース運営の協力を得るなど、活動機会提供および人材活用を積極的に行った。2日間で約800名が来店し施設のPRにつながった。また、足立区在住の怪談師による怪談噺は、昨年度以前より継続的に実施し申し込みが定員に達する人気企画だが、今年度は琵琶演奏を取り入れるなどブラッシュアップを図り、区民の文化的体験を促進しており、水準点に2点加点する。			
評価委員記入欄	【評価すべき点】地域連携の活動をはじめ、各種の組織と連携して積極的な活動が行われていることを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
C 図書館事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか		評価点	
		指定管理者	担当課	評価委員
	1 図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果 など	5.0	5.0	10.0 (満点10点)
	2 読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】大幅な書架の面出し、ラベルや差込みの刷新をし、探しやすく見通しの良い書架づくりを行った。他機関の研修へ参加しそれを生かした展示やBOOKリスト作成、講座を実施。難しい「性」に関する講座や障がい者施設へのおはなし会、企業や地域の方と連携した体験できるイベントへ親子はもちろん、図書館へ障がいのある方が訪れるきっかけを作った。		
		【改善すべき点・課題等】新たに出来たつながりを、より強固にし次年度の事業に繋げていく。年配者を対象としたイベントが少ないとの声もあったので、既存の事業を継続しながら、誰もが参加できる事業を提案し、地域学習センターと共同事業を企画する。		
	区記入欄	【特記事項】面出し資料の多用、ラベルの刷新など書架の見直しを図り、資料の稼働が向上した。また、閲覧席配置を変更し、防犯の観点からも利用者にとって居心地の良い空間づくりを実施している。さらに、障がい者施設へのおはなし会など地域と連携した事業を積極的に展開し、舎人公園千本桜まつりでは、初日は悪天候の影響を受けつつも、「本のとらば一ゆ」では用意した550冊全て配布するなど、図書館のPRの場となっており、これらの取り組みが施設の利用促進にも繋がっている点で評価できる。		
評価委員記入欄	【評価すべき点】一般的な業務の向上が中心だが、死角をなくした使用しやすい環境づくり、面だしや読み取りやすい差し込みへの改善等、各種の工夫を行っている。また、舎人公園千本桜まつりなどのイベントへの参加、夏休みの企画、参加体験企画、障がい者施設などとの連携など、積極的なアウトリーチも実施しており、図書館利用促進に向けた豊富な企画を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
D 利用の 状況	1 学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設55.0% ＜参考＞学習施設目標値 63.9%（前年度利用率＋3%）	3.0	3.0	5.0 (満点10点)
	2 図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（152,142人） ※基準値/146,982人 貸出冊数（175,952冊） ※基準値/179,413冊	2.0	2.0	
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】学習センターパンフレットのリニューアルを行い、近隣商業施設に配布し、学習施設の利用率向上を図った。他の区内図書館で生じたトコジラミの件による本の借り控えもあったが、夏頃より来館者数、イベント参加者数共に増え、臨時の特集展示を行うなど、館内利用者向けのサービス拡充を図った。 【改善すべき点・課題等】サークルの解散等により利用率が伸び悩んだ。SNSやミニコミ紙を活用し、一般団体含めて利用の周知を行う。			
	区記入欄 【特記事項】項目1について、学習施設利用率の基準値は超えたが昨年度の利用率に0.9%達しなかった。サークル解散の要因が大いと思われるが、事業だけでなく学習施設の基本的な利用方法についても対外的周知を積極的に行い、新たな活動団体の誘致に取り組んでほしい。項目2について、貸出冊数の基準値に達しなかったため、水準点より1点減点する。また、利用者前年比増加率、貸出冊数前年比増加率ともに加点基準に未達のため、加点はしない。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】学習施設に関して、パンフレットのリニューアルやその他施設管理により、利用率の基準値を達成したことを評価する。 【改善すべき点】学習施設利用率の低下、図書貸出冊数の減少に対しては、検討の余地がある。 【その他注意点】			
E 3分野 連携事業	3分野連携事業を計画通り実施しているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
	1 3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の3種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型発信等）をしているか など	5.0	5.0	5.0 (満点5点)
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】3分野連携新規事業として親子で参加体験できるイベントを開催した。市場調査結果にもある通り、工作・ものづくり系の講座は人気が高く、アップサイクルやアートに触れる良い機会となった。新規顧客獲得に向けLINE登録キャンペーンを開催した。7月のキャンペーン期間中でターゲットリーチをほぼ2倍の464人に増やすことができた。それに伴い、認知経路のLINEの割合も増えている。 【改善すべき点・課題等】新規事業の参加者は増えてきているが、既存の事業の参加者が微減しているため、イベント広報に努め集客を強化する。			
	区記入欄 【特記事項】工作やアート体験を交えた3分野連携事業の新規企画を実施した。特に、読書から文化への関心喚起プログラム「親子で楽しむ手形アート」は、図書館でアートという企画に意外性があり、43名の親子が参加し盛況であった。また、3分野連携事業では参加の動機付けとしてLINE配信を重視しているため、LINE登録者数を増加させる取り組みが重要となるが、1ヵ月間の短期集中で「お菓子つかみどりキャンペーン」を実施し、LINE登録者数を255人増加させた。以上の取り組みおよび成果を総合的に判断し、水準点に2点加点する。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】親子で参加し体験できる新規事業「自分だけの本をつくろう」「古布で作るブックカバー」などの実施に伴い、新規参加者が増加している点は評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

5ヵ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか (評価点×3)		評価点×3			
		指定管理者	担当課	評価委員	
F 主要事業の企画・実施・成果	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			25. 2 (満点30点)
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】前計画では、5年間かけ地域住民が主体的に活躍できる場として「とねりマルシェ」を立ち上げ、実行委員会を育成してきた。今期の計画は、マルシェをきっかけとして、舎人地域の住民がそれぞれ自身の興味のあることを具現化し地域で活動していくことを目指す。令和6年度は5ヵ年計画の初年度として、区民活動の土壌となる「とねりマルシェ」の継続実施に努めた。第6回は1,285人、第7回は461人の方が来場された。今年度は新規の参加者の獲得のために、初心者向けハンドメイドビジネス講座を実施し、9人の新規出店者が生まれた。また実行委員会も継続実施し、出店者同士のつながり作りとスキルアップに努めた。今年度よりLINEのオープンチャットの導入を試みたが、参加者同士のタイムリーな情報共有が可能になるなど効果的に働いた。3月（第7回）は雨天により初の屋内開催となったが、配置転換や開催場所の判断・連絡のタイミングを事前に準備していたことが功を奏し無事に開催することが出来た。今年度は地域の川村生花店の協力をいただき、ガーデニングボランティアのPRブースを出店することができたため、来年度はボランティアのマルシェ出店を目指し活動の場をさらに広げていく。また多様な年代の方に参加いただくため、こどもマルシェの単独開催を将来的に計画しており、現在は各イベントにてお試し出店を行っている。今年度はコラボシティへ出店し、来年度は千本桜まつりに出店する。			
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】出店者アンケートより、実施方法や装飾、広報など、幅広く改善提案を頂いているので、今後も実行委員会で語り、より良いマルシェを作り上げていく。			
	評価委員記入欄	【特記事項】令和6年度は5ヵ年計画の初年度だったが、前指定管理期間からの継続的な取り組みを若干拡大するにとどまったと考える。「とねりマルシェ」の新規出店者育成事業（ハンドメイドビジネス講座）に注力し、8組の新規出店に至った。また、こどもマルシェ体験（作品・チラシづくり、とねりマルシェでの販売体験）も継続実施し、子どもたちへお仕事体験の機会を提供した。令和4年度に立ち上げたガーデニングボランティアはとねりマルシェでPRブースを出展した。ガーデニングボランティアの育成について、計画ではスキルアップ事業（都市農業公園連携事業）の実施は令和6年度としていたが、令和7年度に持ち越し、土づくりから学ぶ内容として実施予定である。令和7年度は計画の着実な実施を期待する。			
		【評価すべき点】前指定管理期間からの継続活動が中心ではあるが、それなりに大変な作業を継続しているということ自体を評価する。マルシェ参加者を養成するハンドメイドビジネス講座は成果に結びついている。今後とも年度ごとの事業目標に応じたマルシェの活動拡大が期待される。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	利用者の満足を得られているか（評価点×2）		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4. 2 (×2)	32. 8 (満点40点)
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など		4. 6 (×2)	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙 など		4. 0 (×2)	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上 など		3. 6 (×2)	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】スタッフの接客や施設の清潔感について、やや満足以上の評価が90%を超えており、自由意見でも高評価を頂いている。また、センターの情報の認知経路について、あだち広報の割合が減り、その他の媒体の広報効果が上がって来ている。引き続きあだち広報一辺倒にならないよう、センター独自の広報力強化にも努める。			
	【改善すべき点・課題等】自由意見で頂いているドアの開閉に関する補修要望と卓球の備品の要望に関しては、次年度対応する。				
区記入欄	【特記事項】学習センター・図書館ともに職員の接客、施設の清潔さ、館内表示や案内の質問項目の満足度は高く、自由意見欄にも感謝の声が多いが、昨年度と比較すると「満足」の回答割合が低下している項目もあるため、結果分析や利用者意見を収集し、対応を検討してほしい。また、講座・イベントの「満足」の回答割合について、図書館は約3%上昇したものの、学習センターは約8.5%低下しており、自由意見欄にも新たな講座の実施を求める声がある。講座内容の固定化も見受けられるため、市場調査や講座受講者アンケートも参考にしながら、学びに重点を置いた事業等、新規事業の企画に期待する。				
評価委員記入欄	【評価すべき点】適切な運営がなされている。特にスタッフの受付・接客対応や施設の清潔感、設備の手入れに関して学習センター、図書館ともに高い評価が得られている。 【改善すべき点】新たな活動・講座に対する要望が多い。新規講座開設の課題があると見受けられる。 【その他注意点】				
合計点		107. 0 (満点130点)	133. 8 (満点=170点)	159. 2 (満点=200点)	

特記事項 (評価委員会による総合評価を記入)	一般的な業務の向上が中心だが各種の工夫を行っている。事業に関しては、千本桜まつり、コラボシティの活動など、利用者増加につながる活発な地域連携が行われている。障がい者施設へのアウトリーチ事業は、相互理解を深める取り組みとして高く評価できる。また、5カ年計画は前指定管理期間からの継続活動が中心ではあるが、「とねりマルシェ」を継続して実施できている点や、5年後のビジョンとして掲げている「みんなの小さな“やりたい”を育てる」講座も成果を結んでいる点が評価できる。今後の展開に期待したい。
---------------------------	---

【評価委員会評価結果】



※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
2-D項目2における減点事項について、アウトリーチ事業などの取り組みはなされているが、昨年度比の貸出冊数の減少（183,130冊→175,952冊）に対しては、データ分析を含めた様々な視点からの検討により改善を期待したい。

＜評価委員会評価基準＞

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。